

表題 地域に開かれたキャンパス 農学部植物園における「うえだ交流まつり」

岩手大学上田キャンパスのある盛岡市上田地区は県内有数の文教地区であり、幼稚園・保育園から大学まで徒歩圏内に揃っている。前年度に引き続き2023年度も、本学と上田商店街協同組合が共同で、10月14日（土）に「うえだ交流まつり」と称するイベントを実施した。本イベントの企画・運営には本学のサークル「まちづくりサークルNPCN」も参加した。

重要文化財である農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）を有する植物園内にステージを設置し、近隣の保育園、小学校、中学校、高等学校や岩手大学学生サークルによる発表を行った。また、高等学校による古本販売、商店街による出店、地区内にあるNHK盛岡放送局による企画等も同時に行った。

当日は、開放的な青空の下、緑の木々の囲まれた植物園で、幼稚園児から大学生までの幅広い年齢層が交流した。



来場者からは、「宮沢賢治ゆかりのキャンパスで世代を超えた交流ができる非常に良い取り組みだと思う」「広々としたキャンパスで孫たちの発表を楽しめた」「この地域が文教地区であったことを改めて認識した」等の声が寄せられた。

今後も、さらなる地域の活性化のため、地域と大学との相互理解を促進し、地域で学ぶ誰もが参加し交流を行う場として、岩手大学の緑豊かなキャンパスを活用できる体制を構築していく予定である。

【岩手大学】
キャンパス開放
学生企画・運営
学生ステージ発表
交流企画
販売補助

大学キャンパス＝地域住民の交流の場

【商店街】
飲食店出店
ステージ発表
交流企画

【近隣地区学校】
小・中・高校ステージ発表
交流企画
職業体験（販売補助）

